

ICT利活用普及促進セミナーin四国



総務省

～ 実 は こ こ に も ICT ～

開催日時:平成24年1月25日(水)14時00分～17時00分(12時開場)

※機器展示は12時からご覧いただけます。

入場無料
(事前申込制)

開催場所:かがわ国際会議場

住所 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟6階

電話 087-825-5120

総務省が取り組んできた情報通信技術(ICT)の利活用事業に携わっている
方々を講師に迎えて行うセミナーです。ぜひ、ご参加下さい。

<基調講演> 14:15～14:35

演題:ICT利活用 成功と失敗の分水嶺(仮題)

講師:総務省情報流通行政局

地域通信振興課長 秋本 芳徳(あきもと よしのり)

<講演 4つの事例紹介> 14:35～16:10

防災、水産、観光、就労支援の4つの分野の成功事例をご紹介します。

防災

○静岡県

様々な情報を収集・集約・共有できる防災情報システム、県全体の被害状況の把握や道路情報等を共有できる地図情報システム、県民や旅行者へいち早く災害情報を届ける災害情報広報システムを連動させ、防災活動に活用する。



水産

○愛媛県愛南町

愛南町の地場産業である水産業の活性化のため、魚病電子カルテ・赤潮早期感知システム等を利用した「愛南町水域状況可視化システム」、及び、「ぎょしょく」普及と人材育成を行う「次世代水産業普及ネットワーク」を導入し、次世代水産業の確立と普及促進を目指す。



就労支援

○特定非営利活動法人

マイシアター高松

地域の産品を有し販売する企業や営農者と子育て支援団体や障がい者施設が連携、独自のネットショップとネットショップ運営代行を事業化し、育児期の親・ひとり親・障がい者などのネットショップ ICT人材を育成し事業運営を行う。



観光

○特定非営利活動法人

札幌ITフロント

スマートフォン向けに無料でダウンロードできる街中案内アプリ「greenAR」を開発。現在は札幌、小樽、函館で利用可能。今後観光地を中心に順次拡大予定。スマートフォンのGPSと電子コンパス機能を活用し、観光施設や飲食店に内蔵カメラを向けると施設の情報が画面に表示される。中国語にも対応。



<トークセッション> 16:25～17:00

実際に事業に携わっている方々によるトークセッションです。

地域の課題の見極め方や強みの発見と活かし方、キーパーソンとの存在とその役割など成功事例に共通するロジックについて語っていただきます。

会場からの質問にも随時お答えします。

注目!!

<機器展示> 12:00～17:00

セミナーで紹介するシステムや、総務省事業に関係するシステム等を展示します。

●お申し込み方法

申し込み用ホームページ(<http://shikoku-ict.jp/?p=2224>)からお申込みいただくか、

氏名、所属団体等を お問い合わせ先の電子メール、電話又はFAXにて、お申し込みください。

お問い合わせ先:四国総合通信局 情報通信振興課(竹田、田村)

メール:shikoku-chiiki@soumu.go.jp 電話089-936-5061 FAX:089-936-5014

申込み〆切
平成24年1月20日(金)

主催:四国総合通信局、四国情報通信懇談会、かがわ情報化推進協議会、四国コンテンツ連携推進会議

後援:中国四国農政局、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、四国経済連合会

<講師プロフィール>

防災

静岡県危機管理部危機政策課 主査 内山 敬介(うちやま けいすけ) 氏

1996年 静岡県庁入庁

2007年 防災局通信管理室勤務

2010年 危機管理部危機情報課兼務

2011年 危機情報課兼務から危機政策課兼務に変更

電気の技術吏員として入庁。営繕系、情報系の業務を経て、現職の危機管理部(防災部局)に配属される。通信業務をする傍ら、災害情報※GISを構築し導入。これら今までの経験と業務実績を活かし、防災情報システムの構築担当として業務にあたった。

※GIS:さまざまな地理データを、衛星やコンピューターなどを利用して収集、分析、処理し、地図情報とその他の情報を統合的に活用するシステム。地理情報システム。

水産

愛媛県愛南町水産課水産振興室魚類養殖振興課 主査 浦崎 慎太郎(うらさき しんたろう) 氏

1998年 御荘町役場入庁 農林水産課・税務課

2004年 町村合併により愛南町役場に 保健福祉課

2006年 現職 (水産課)

愛媛県は海面養殖生産額が日本一であるが、2004年の市町村合併により愛南町のしめる割合が増大した。2006年に希望部署であった水産課に配属されると、町の魚病検査室を立ち上げ、魚類防疫士として養殖魚の病気の診断とデータの蓄積にあたる。

今後の愛南町養殖振興の柱となる次世代型水産業ネットワークシステムを漁協、養殖業者等と連携しながら構築し、日々運用にあたっている。

観光

特定非営利活動法人 札幌ITフロント 理事 山本 強(やまもと つよし)氏

(北海道大学大学院情報科学研究科 教授)

1996年 北海道大学大型計算機センター(現情報基盤センター)教授

1999年 北海道大学大学院工学研究科教授

2004年 北海道大学大学院情報科学研究科教授 工学博士

特定非営利活動法人札幌ITフロントの代表理事として「ICTを利用した地産地消経済活性化事業」の全体統括を担当するとともに、情報メディア学、CG分野の研究者として※AR や※LBSの技術的検討と評価に参加。本事業全体の運営を協議する「ICTを利用した地産地消経済活性化協議会」の座長も務める。

※AR: Augmented Reality 「拡張現実」と訳されるように、現実世界を、コンピューターを使って情報を付加、増強、拡張する技術。

※LBS: 位置情報サービス

就労支援

特定非営利活動法人マイシアター高松

理事長 野上 むつみ(のがみ むつみ)氏

2009年 マイシアター高松理事長就任

大人と子どもたちの「鑑賞活動、体験活動、居場所づくり、テレワーク事業」を通して大人と子どもが豊かに育つ地域社会作りを目指し活動中。

また、平成22年度香川県私立幼稚園PTA連合会会長も務める一方、一級建築士として親子が毎日触れあえる家作りのコンサル・設計業務を行っている。

ICT絆プロジェクト推進担当 古市 努(ふるいち つとむ)氏

マイシアター高松の会員としてICT絆プロジェクトを推進するとともに「緑のそよ風プロジェクト香川」代表として、地域で活躍する地元企業と障がい者施設や子育て支援団体をコラボレーションし、障がい者や育児期の親など就労弱者の経済的自立支援事業を実施している。

また「さぬきビジネスファーム」を主宰し、県内ソーシャルビジネス企業の育成に努める。

<出展内容及び出展者>

- ・「災害時広域連携システム」 静岡県
- ・「愛南町水域状況可視化システム」、「次世代水産業普及ネットワーク」 愛媛県愛南町
- ・「greenAR」 特定非営利活動法人札幌ITフロント
- ・「ICT利活用による地域産品拡販に伴う就労弱者支援事業」 特定非営利活動法人マイシアター高松
- ・「こうちユビキタス観光コンテンツツアーカイクサービス構築事業」(出展協力:こうちユビキタス観光コンテンツ協同組合)
- ・「教育分野のICT活用システム ～フューチャースクール～」(出展協力:富士通(株))
- ・「公共情報コムズ」(出展協力:財団法人 マルチメディア振興センター)
- ・「自治体情報配信システム」(出展協力:久万高原町、(株)アスコ)